

## 《至誠 剛健 協同》

ふるさとを愛し ころ豊かで  
未来を切り拓く 香住っ子の育成

おお まつ  
**大松**



香住小学校 学校だより  
第6号  
令和7年10月10日  
香美町立香住小学校

## 自然学校大成功！

「～仲間と協力 絆を深める5日間！～」をテーマに、5年生が4泊5日で自然学校を実施しました。欠席者もなく初日から活動しやすい天候で絶好のスタートとなりました。初日は香住高校の生徒さんにお世話になり「磯観察」と「せり体験」をしました。初めて見る（触る）海辺の生物に児童たちは興味津々。貴重な体験となりました。昼食はロータリークラブのみなさんのご厚意で「バーベキュー」で焼いた海の幸をいただきました。サザエの身を取り出すのに悪戦苦闘しましたが、豪華な食材にお腹も心も満たされました。2日目の登山では、登山道の悪路を力強く進み見事に全員登頂しました。山頂前で雨が降ってきて心配しましたが、苦勞して登った山頂での景色は子ども達に苦難を乗り越えた達成感と感動を与えてくれました。3日目は飯ごう炊きです。火おこしから始まり、調理、食事、後片付けまで、班で役割分担をして、とても手際よく活動できました。苦勞をして作ったカレーライス、きっと忘れられない味となったことでしょう。夜は兎和野グランドの真ん中で星空観察をしました。目を閉じてカウントダウンした後、一斉に目を開けた瞬間に満天の星空が広がり、児童たちから感動の歓声が広がりました。4日目のスタンプラリーは兎和野の森の中を班で協力しながらポイントを回りました。そして、最後の夜のキャンプファイヤーでは各班が工夫を凝らした出し物を披露し、会場は大きな拍手と笑いが巻き起こりました。その後は感動のフィナーレ。暗闇で燃える炎を見つめながら静かに自然学校を振り返りました。5日間、多少のケガやハプニングはありましたが、何より5年生63名全員が参加できたこと、そして様々な体験を通して新しい自分、友だちの良さを発見し、最後まであきらめずにやり切ったことは、とても素晴らしいことです。5年生の皆さん、感動をありがとう。

保護者の皆さま、自然学校の準備をありがとうございました。子ども達は改めて家族への感謝の気持ちや家庭のありがたみを実感したことと思います。1週間家族とはなれることで色々な不安もあったことと思いますが、それを乗り越えてきた事実と友達と力を合わせ、協力し互いを思いやってきた体験の数々は、これからの大きな自信になるはずです。「体験は宝」。この貴重な宝をぜひこれからの成長に生かして行ってほしいと願っています。

## 4年生飛行機体験行ってきました

9月9日（火）と9月18日（木）に、4年生が飛行機体験で大阪市へ出かけました。初めて飛行機に乗るといふ児童が多く、出発前は、緊張のためかやや口数が少なくなるような場面も見られましたが、終始笑顔で活動ができました。自分の眼下にある雲海や、飛行機から見下ろすふるさと兵庫の景色など、普段では見ることが出来ない光景にあちらこちらから感嘆の声が聞かれました。昼食に訪れた万博公園、そして生き物を間近で感じられた「ニフレル」、子どもたちにとって忘れることのない貴重な体験ができたようです。

## 10月1日は第130回創立記念日

明治28年(1895年)9月1日、香住・森・下浜・一日市の尋常小学校が合併し、香住尋常小学校となり、さらに10月1日、高等科が設置され香住尋常高等小学校となり、この日をもって本校の創立記念日としました。創立記念日を振り返り、先人の労苦と町民の皆様の気持ちに感謝しながら、もう一度、子ども達と大切なことを考える機会としたいものです。



## 「大松二世」無念の伐採

香住海岸には、かつて「大松(おおまつ)」と呼ばれる立派なクロマツが植えられていました。その歴史は大変古く、明和5年(1768年)の絵図にも、家々の間で大きく枝を広げた松の姿が描かれていたと伝えられています。

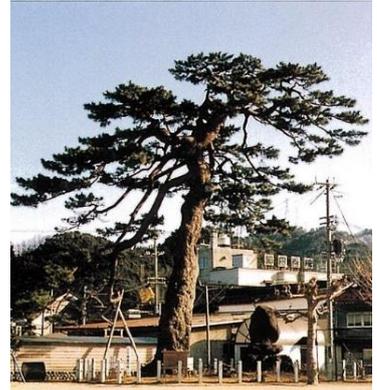
この松はもともと「燈籠(とうろう)の松」と呼ばれ、お盆や法事の際には枝に灯籠を吊るして先祖を供養していたことから、その名が付いたそうです。その「燈籠の松」の近くに現在の香住小学校が建てられ、「小学校の大松」として、長い年月にわたって厳しい風雪の中で香住小の子どもたちを見守り続けてきました。

「大松」は、昭和44年に町指定天然記念物、平成3年には県指定郷土記念物として保護されてきましたが、平成9年頃から急に樹勢が衰え、さまざまな手当てを行ったものの、残念ながらその寿命を終え伐採されました。

大松が伐採される2年前の平成7年には創立100周年を記念して「大松2世植樹」という事業が行われました。高所作業車を使って、大松から150個の松ぼっくりを採取し、そこから種を取り出して発芽させ、校内で苗を育てました。その苗のうち数本が、かつて大松があった場所のそばに植えられ、2本の「大松2世」が元気に育っていました。

しかし、今年になってそのうちの1本に枯れの兆しが見られたため、森林組合の方に診断をお願いしたところ、樹木の病気による倒木の危険性があるとのことでした。残念ではありますが、安全のため、このたび伐採することとなりました。もう1本の「大松2世」については治療を施し、これからも大切に見守りながら成長を願っていききたいと思います。

香住小学校の卒業生の皆様、そして長年にわたり温かく見守ってくださった地域の皆様には、大変残念なお知らせとなりましたことを、この場をお借りしてお伝えいたします。今後とも香住小学校へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



大松1世



現在の大松2世



朝日新聞 H7.2.17

創立100年誌より